

## ○ オンライン授業について

### 1. オンライン授業の種類

オンライン授業として、皆様がイメージするのは、予備校で行われているようなリアルタイムの動画授業やテレビ会議を想像する方も多いと思います。

オンライン授業の基本的な形は、インターネット回線を通じてやり取りを行う方法で、本学では以下の3種類で実施いたします。

- (1) **オンデマンド型（資料や動画を配信する形）**：多様な情報として、「文字、音声、静止画、動画」等を配信する形式です。文字情報のみを配信する場合でもオンデマンド型となります。特定の時間に拘束されず、自分の好きな時に Moodle にアクセスして受講します。Moodle のモバイルアプリを取得することでスマートフォンからも使用できます。

アプリケーションツールとして「駿河台大学共通利用 e-ラーニングシステム Moodle（ムードル）」という本学の授業支援サービスを使用します。動画や資料の提示やレポート採点、小テスト等の機能があります。

- (2) **双方向オンライン型**：リアルタイムのオンライン授業です。講義時間割で決められた曜日時限で受講します。

アプリケーションツールとして「Google Meet」（グーグル ミート）を使用します。大学の Gmail アカウントで利用が可能な web 会議用のツールです。ビデオ会議やリアルタイム・録画による授業の配信、学生と教員が互いに発言しながら、オンラインで授業を行う等ができます。

- (3) **両者の併用型**：「Moodle」と「Google Meet」の両方を使用します。

### 2. オンライン授業に関するネットワーク環境のアンケートについて

4月18日（土）から4月28日（火）の間、皆様のネットワーク環境等を知るためのアンケート調査を実施しました。

期間中の回答率が、59.6%にとどまったことから、5月7日（木）6：00まで期間を延長します。オンライン授業を実施、改善するに当たって、皆様の環境を確認することは大切なことと考えていますので、未回答の方はご協力の程、お願いいたします。

なお、この調査は状況を確認するための調査です。オンライン授業はパソコンを持っていなくても受講できますので、安心して現在の状況を回答してください。

## ○ オンライン授業を受けるための準備について

オンライン授業を受けるための主な準備は次の3つになります。パソコン、タブレット端末、スマートフォンを問わず共通の内容です。

大学に来校していれば、学内掲示や友人、先生からの話等から得られる情報もありますが、登校が制限されている状況では、皆さんが情報を正しく入手できるようにすることや、メール（連絡先）が登録され、大学や先生からの連絡がつくようになっていることが、通常時以上に重要になってきます。

### (1) 大学から付与する ID、パスワードの確認：

大学から在学生の皆様へのお知らせは、ポタロウ（ポータルサイト）という Web サービスを使用しています。お知らせだけではなく、授業支援システム「Moodle」の入り口や、授業の履修登録にも使用しますので、これらのシステムを使用できる ID、パスワードを確認しましょう。

新入生、新編入学生の皆様には保証人様宛に4月11日（土）に書留郵送しています。また、在学生の皆様で自分の ID、パスワードがわからなくなり、ポタロウにログインできない場合には ID 再発行の手続きが必要です。情報システム課宛に申し出てください。

### (2) G Suite（ジースイート）の使い方を確認しましょう。

Google 社によるものでメール、ドライブ、カレンダー、ドキュメント等の機能(アプリ)が備わっています。

本学が付与するメールアドレス Gmail (s 学籍番号7ケタ @surugadai.ac.jp) をはじめ、ガイダンス資料が保存される Google ドライブ、双方向オンライン型授業で使用する「Google Meet」等の機能があります。

先生からの授業関係の連絡等が Gmail を通して行われる場合もあります。

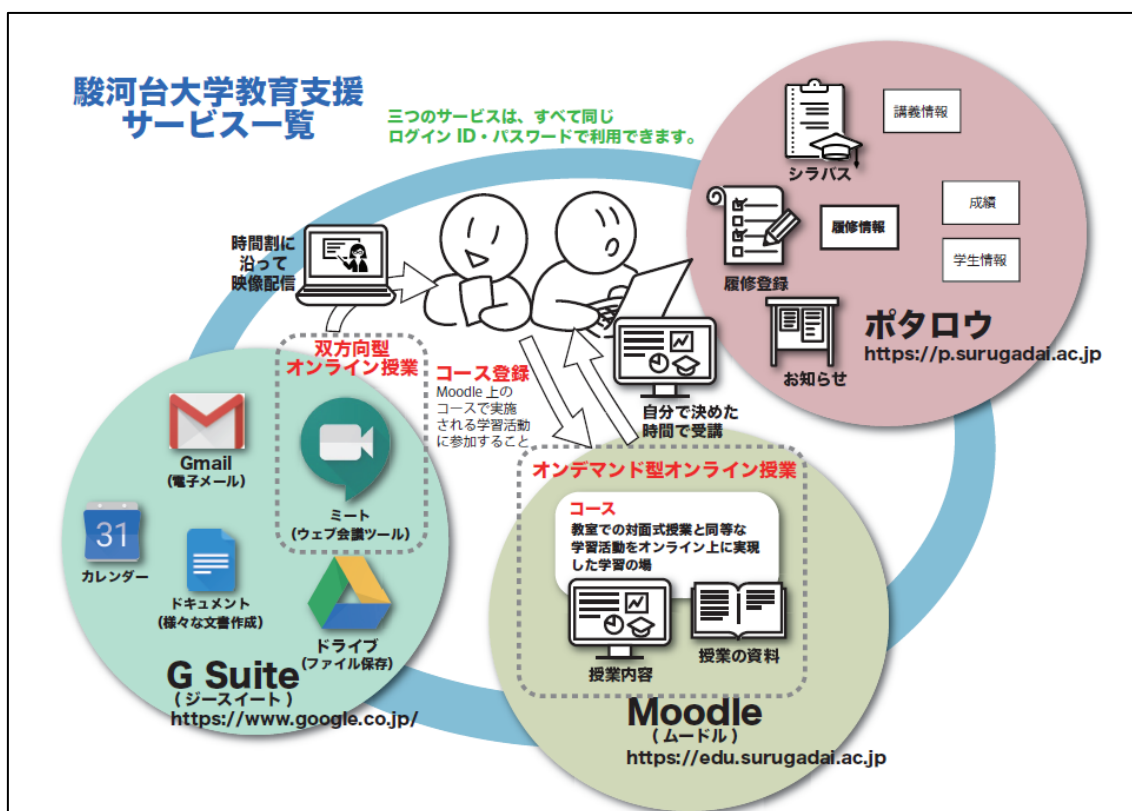
なお、現在中国国内に滞在している場合、Google へのサインインができません。

G Suite の使い方はこちら

[https://www.surugadai.ac.jp/news/g\\_suite\\_guide.pdf](https://www.surugadai.ac.jp/news/g_suite_guide.pdf)

### (3) 駿河台大学教育支援サービス一覧

今までの説明を図示しました。



#### (4) 機器について

- ①オンライン授業の形態のうち、Google Meet 等を使用した双方向オンライン型授業では、授業中にパソコンやスマートフォンの「マイク機能」「カメラ機能」を使用する可能性があります。

スマートフォンであれば、電話をしたり（＝マイク機能）、写真を撮ったり（＝映像機能）する機能がついているはずですので、スマートフォンを持っていれば、双方向オンライン授業を受講することができます。タブレット端末も、多くの場合、カメラとマイクはついています。

Google Meet は、スマホやタブレット用の無料のアプリがあります。

また、イヤホンやヘッドホンがあると音声聞き取り易くなります。

パソコンの場合、特にデスクトップ型では「マイク機能」や「カメラ機能」がついていないものもありますので、Google Meet の場合、スマートフォンやタブレット端末での受講が便利かもしれません。

「マイク機能」や「カメラ機能」がついていないパソコンでも Meet 授業に接続することは可能ですので、そのためだけに新しいパソコンを購入する必要はありません。

- ②オンデマンド型（資料や動画を配信する形）では、動画を再生したり、資料を読んで課題を作成したりします。

スマートフォンで動画や資料を見ることは可能です。授業のレジュメや資料には PDF というファイルがよく使用されるので、Adobe Acrobat Reader というアプリの利用をお勧めします。また、レポートの作成等でワープロソフトの Word（ワード）、表計算ソフトの Excel（エクセル）、プレゼンソフトの PowerPoint（パワーポイント）が必要になる場合があります。

駿河台大学では、日本マイクロソフト社と教育機関向け総合契約（OVS-ES）を締結していますので、本学に所属する学生・教職員は自宅等で Office 365 ProPlus を無償で使用できます。個人で所有しているパソコンに加えて、スマートフォンやタブレット端末にも Office 製品をひとりにつき各 5 台（計 15 台分）インストールできますので、予め準備を進めておきましょう。

Office 365 ProPlus (OVS-ES) 利用マニュアルはこちら

<https://www.surugadai.ac.jp/mediacenter/pc/guideline.html>

更に余裕がある場合には、以下の2つもあると良いでしょう。

#### (5) ネット環境

オンライン授業を受けるためには、オンライン授業に必要なネット環境があった方が良いでしょう。インターネットやスマートフォンのデータ通信量を確認しておきましょう。「ギガ不足」になると資料や動画が閲覧できなくなります。余裕があれば、十分なデータ通信量又は無制限のネット環境を引くことをお勧めします。

本学としてもオンライン授業の実施に際して、学生のネット接続環境への配慮として、先生方に以下のようなお願いをしています。

- ・授業資料の解像度を落とす等の低容量化
- ・動画配信時の工夫。例えば 90 分フルタイム動画配信だけではなく、資料や掲示板機能の活用
- ・オンデマンド型授業の配信頻度の工夫。例えば 2 回相当の内容を 1 回で配信

また、NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQ コミュニケーションズは 25 歳以下向け支援措置を発表しています。詳しくは各社のホームページで確認してください。これらはいずれも教育における学生の通信環境の確保等のための支援措置になります。学習目的での利用に限って使用するように願います。

NTT ドコモ

[https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403\\_00.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html)

KDDI

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/04/03/4364.html>

ソフトバンク

[https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403_01/)

UQ コミュニケーションズ

[https://www.uqwimax.jp/annai/news\\_release/202004061.html](https://www.uqwimax.jp/annai/news_release/202004061.html)

## (6) パソコン

スマートフォンだけでオンライン授業を受講することは可能ですが、画面が小さかったり、1画面で複数の作業（例えば動画視聴と資料の閲覧）を行うのに不便を感じる場合、パソコンがあると便利です。しかし現在、一部パソコンの品薄が生じていますし、購入費用もかかるので、今回のオンライン授業のためだけに新しいパソコンを購入する必要はございません。

参考) 新入生向け おすすめパソコンのスペック

<https://www.surugadai.ac.jp/jskc/osusumepc2020.pdf>